

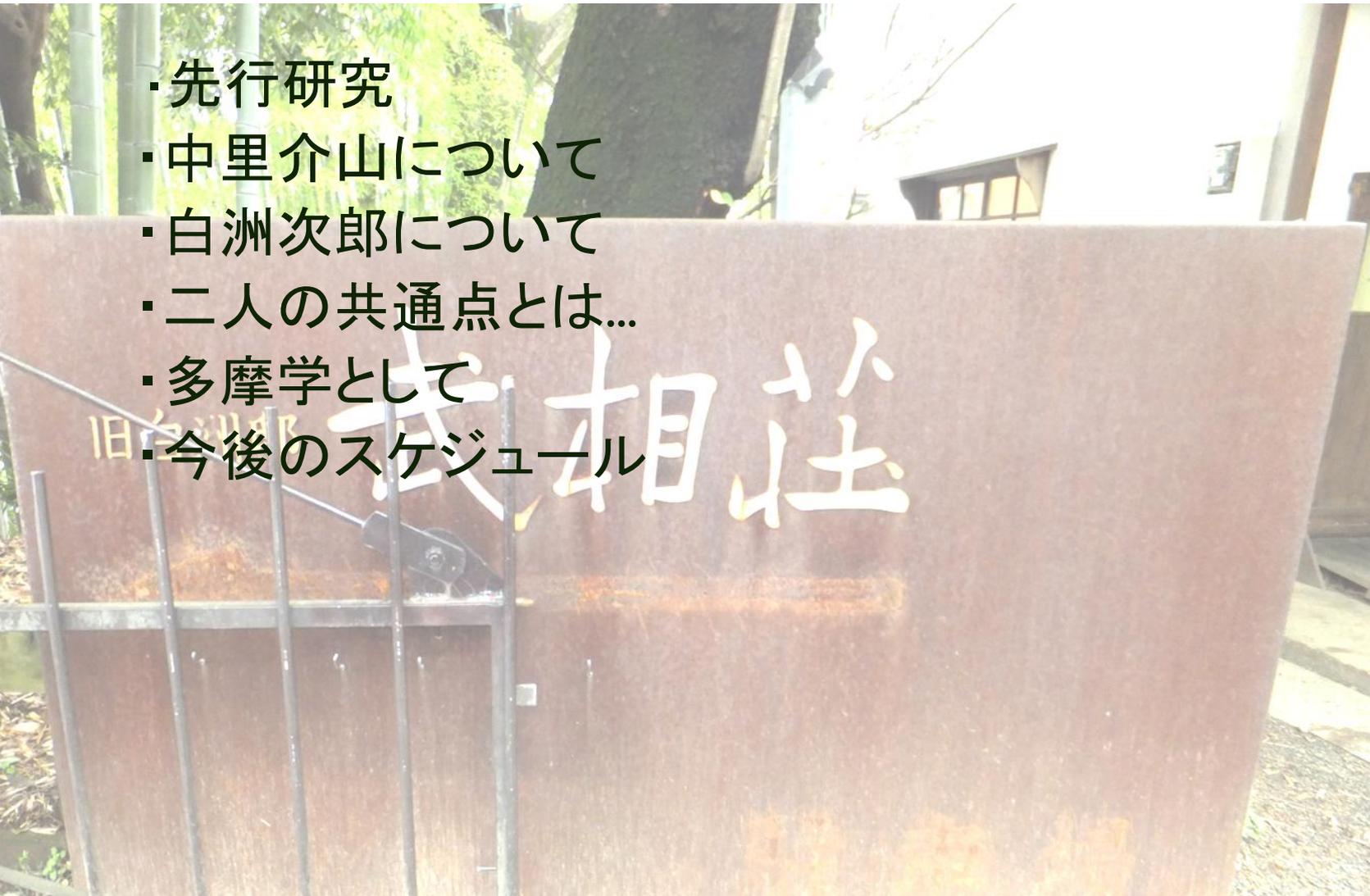


多摩学中間発表

学生陣: 三谷明史・山田真里帆・丹有紗・中川英之・高橋豪
大学院: 原智恵子
教授陣: 中庭光彦・松本祐一・諸橋正幸

□ 目次

- ・先行研究
- ・中里介山について
- ・白洲次郎について
- ・二人の共通点とは...
- ・多摩学として
- ・今後のスケジュール

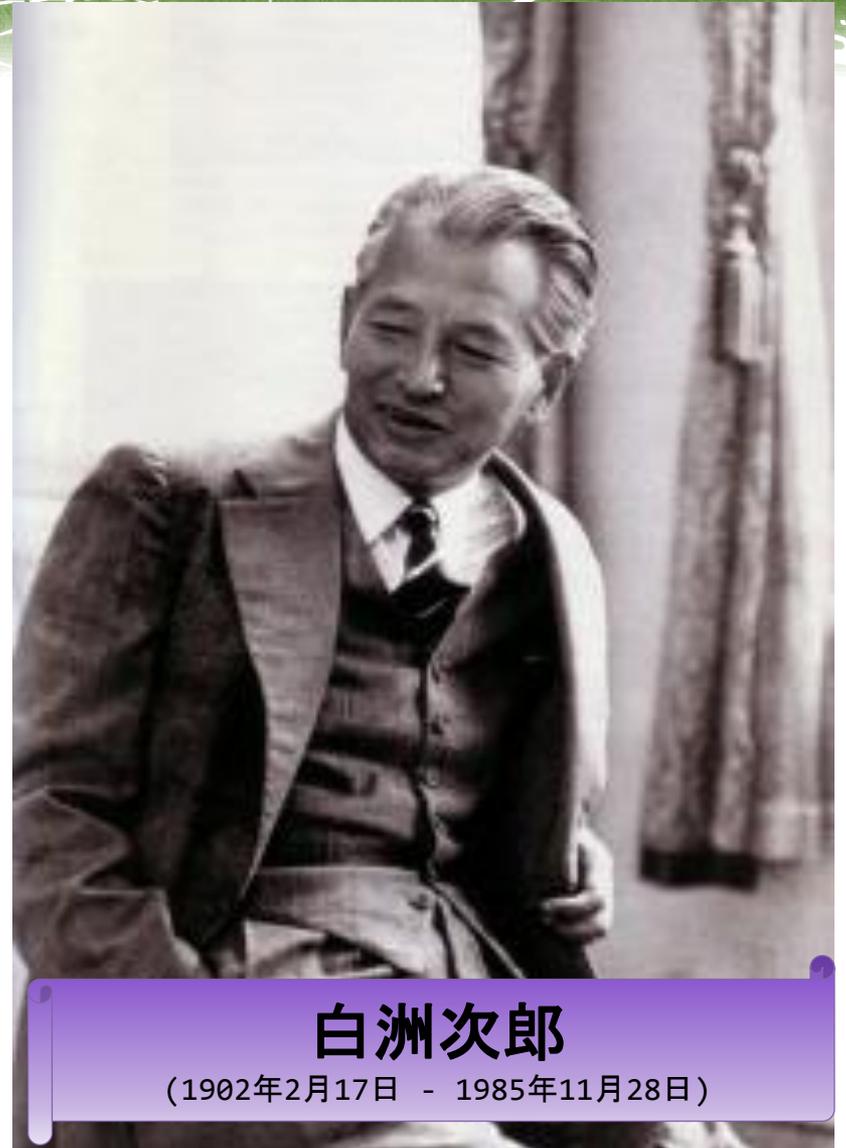


多摩学の研究对象者



中里介山

(1885年4月4日 - 1944年4月28日)



白洲次郎

(1902年2月17日 - 1985年11月28日)



中里介山

(1885～1944)

日本の小説家

22歳までは教員職に就いていたが、
それ以降は文才を活かし生活していく。
37歳より多摩地域内に塾などを設立し、
自分の理想郷を求め続けた

代表作

「大菩薩峠」(1913～1941)全41巻
「夢殿」(1927)

まず...

中里介山について知る！！

文献調査



フィールドワーク

- ・いろいろな人脈があった！（人脈図参照）
- ・多彩な思想家との関係が見えた！
- ・晩年まで定住せずに引っ越しを繰り返した！（約23回）
- ・日本各地・中国・アメリカなど、
たくさんの土地へ足を運んだ！（旅行：約52回）
- ・塾経営など、教育に関する事業をいくつか行っていた！

介山にとっての世界とは？

介山が影響された思想

- ・キリスト教(松村介石、内村鑑三)
- ・陽明学(熊沢蕃山)
- ・法然
- ・社会主義(幸徳秋水、徳富蘆花)
- ・農本主義(トルストイ)
- ・聖徳太子
- ・日蓮主義(高山樗牛)
- ・独身主義(佐々蔚:小学校時の校長)
- ・超国家主義(田中智學、北一輝)

➡ それぞれの思想の
考え方全部に
共感したわけでは
ない？

共感した部分は
理想郷へ反映された？

介山ゆかりの地

旅行

湘南地方無銭旅行

熱田・奈良・京都・修善寺方面

瀬戸内海・四国・小豆島

安房国清澄山

那須温泉・新潟・会津東山・

赤倉温泉方面

北海道

支那(中国)

アメリカ

Etc.

東京と多摩地域

出版系:東京

教育系:多摩地域

事業

隣人塾(高尾草庵)

隣人学園(府下南多摩郡浅川村)

遊於舎(牛込区早稲田鶴巻町)

黒地蔵草庵(武州沢井黒地蔵)

小滝道場(奥多摩御嶽山麓)

八雲谷草庵(谷久保)

隣人道場(二俣尾)

三界庵(大菩薩峠勝縁荘の傍ら)

西来荘(軽井沢千ヶ滝)

Etc.

居住

下谷区谷中真島町

谷中初音町

根津須賀町

牛込区早稲田鶴巻町

小書店玉流堂

高尾草庵

千葉県浜金谷

羽村「大菩薩峠記念館」内

西隣塾

Etc.

中里介山の疑問&方針

疑問

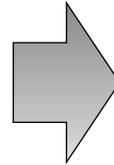
なぜ、一定の場所に留まらず、
放浪したのか？



理想郷という居場所を探し求めた？



介山の理想郷はなんだったのか？



居場所のないアウトサイダー
としての介山

居場所を見つけるために
どうあがいたか。

小説に描かれた理想郷の把握

事業として現実に描こうとした
理想の把握

小説と現実の比較

これからやること

- ・都新聞の社史(発行部数等)調べる
- ・演劇、映画の観客数調べる
- ・塾で教えていた内容調べる
- ・大菩薩峠読む

多摩学の研究对象者



中里介山

(1885年4月4日 - 1944年4月28日)



山田健二

(1902年2月17日 - 1985年11月28日)

白洲次郎

NHKドラマ



名前: 白洲次郎

身長: 1m75cm、体重: 65kg (GHQ調べ)

ニックネーム: オイリーボーイ

戦前に神戸からイギリスのケンブリッジ大学へ留学。イギリスでプリンシプルを学び日本へ帰国。

戦後、終戦連絡中央事務局次長、経済安定本部次長、貿易庁長官、東北電力会長などを歴任した。

戦後、吉田茂の側近として連合軍最高司令官総司令部と渡り合い、従順ならざる唯一の日本人と言わしめた。妻は白洲正子。

白洲次郎への疑問

Q1、白洲次郎は、何者なのか？

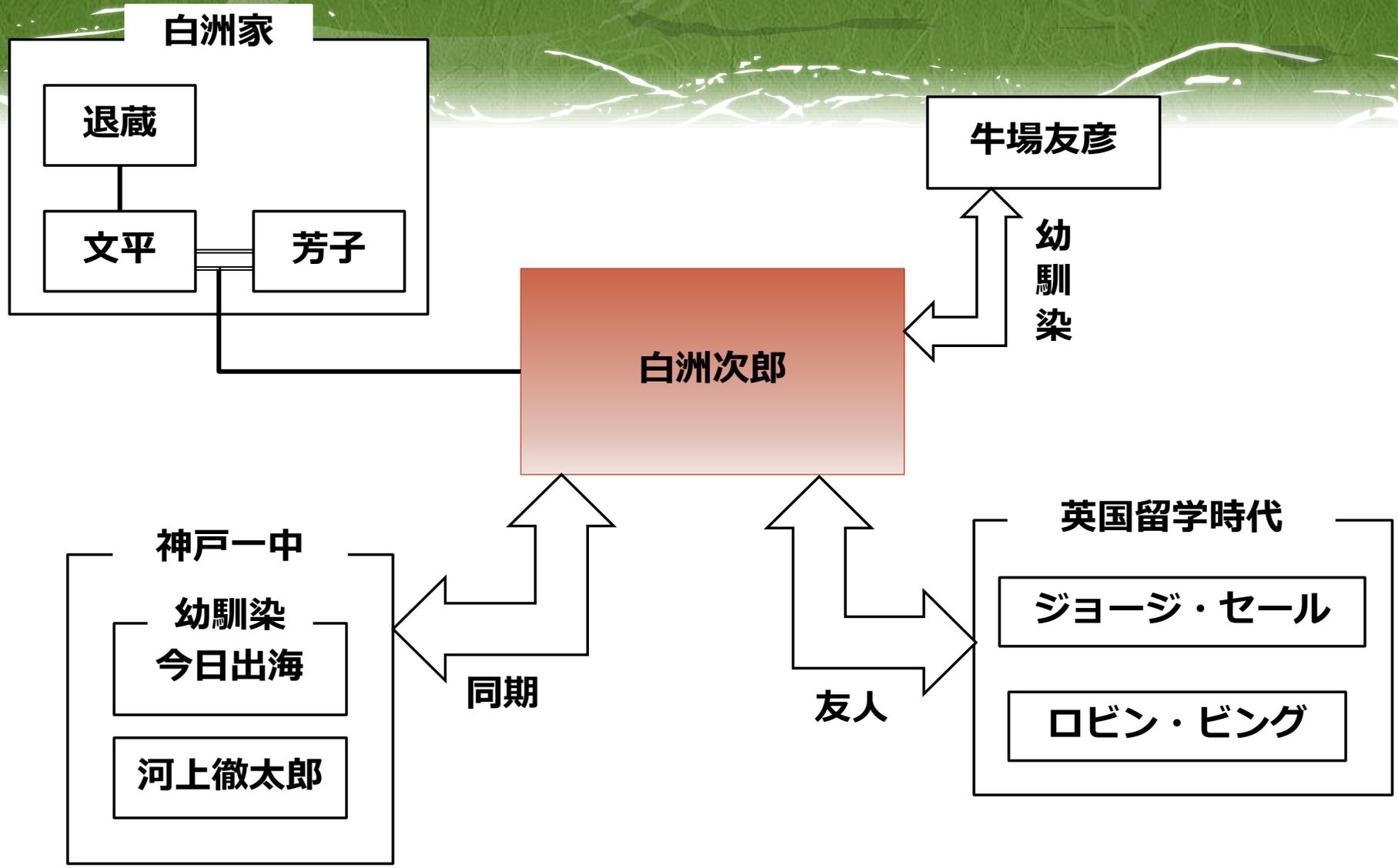
Q2、プリンシプルとは何か？

Q3、白洲次郎から現代の僕たちに学べることは何か？

白洲次郎役

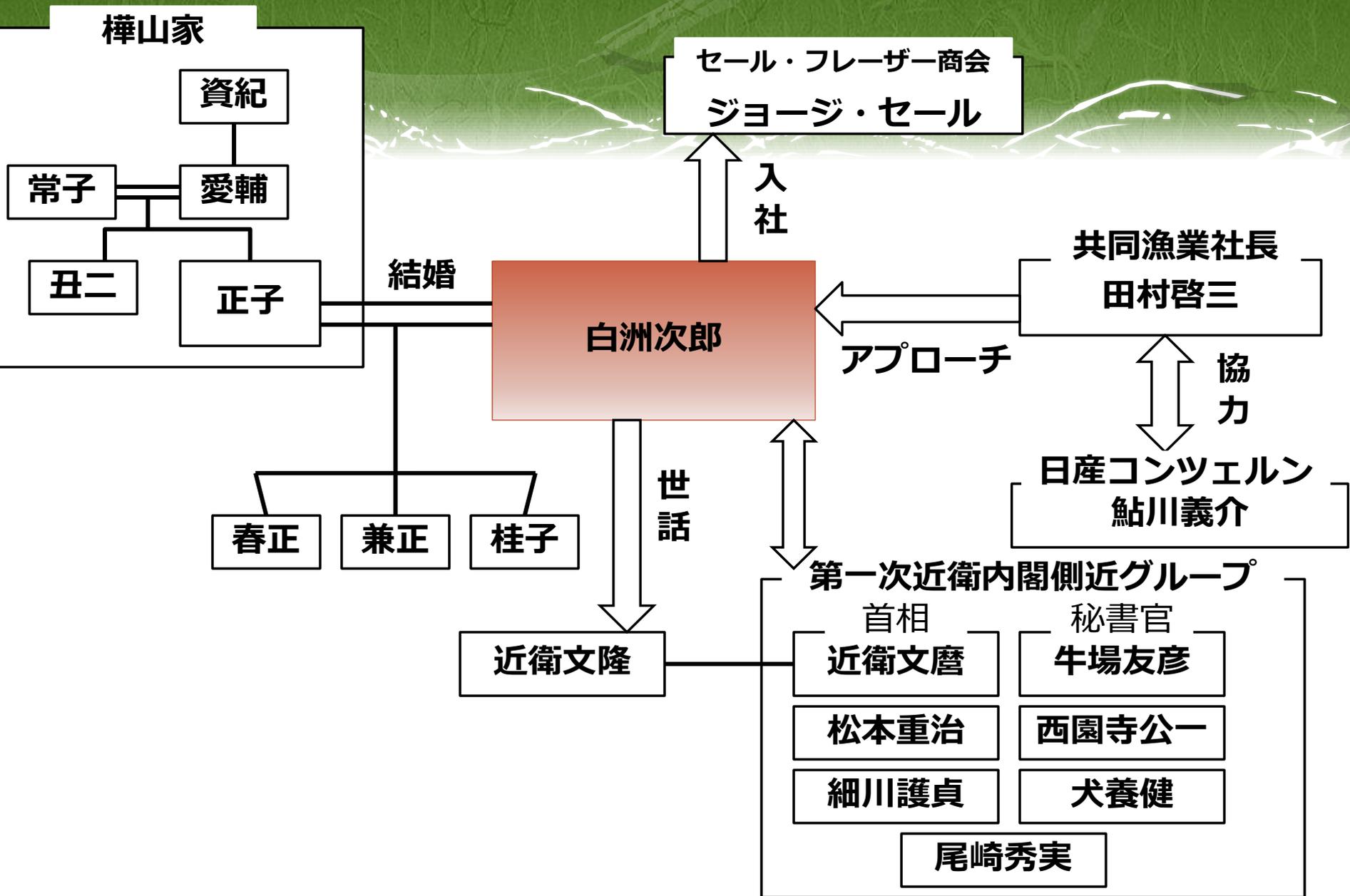
白洲正子役

白洲次郎とは何者なのか？



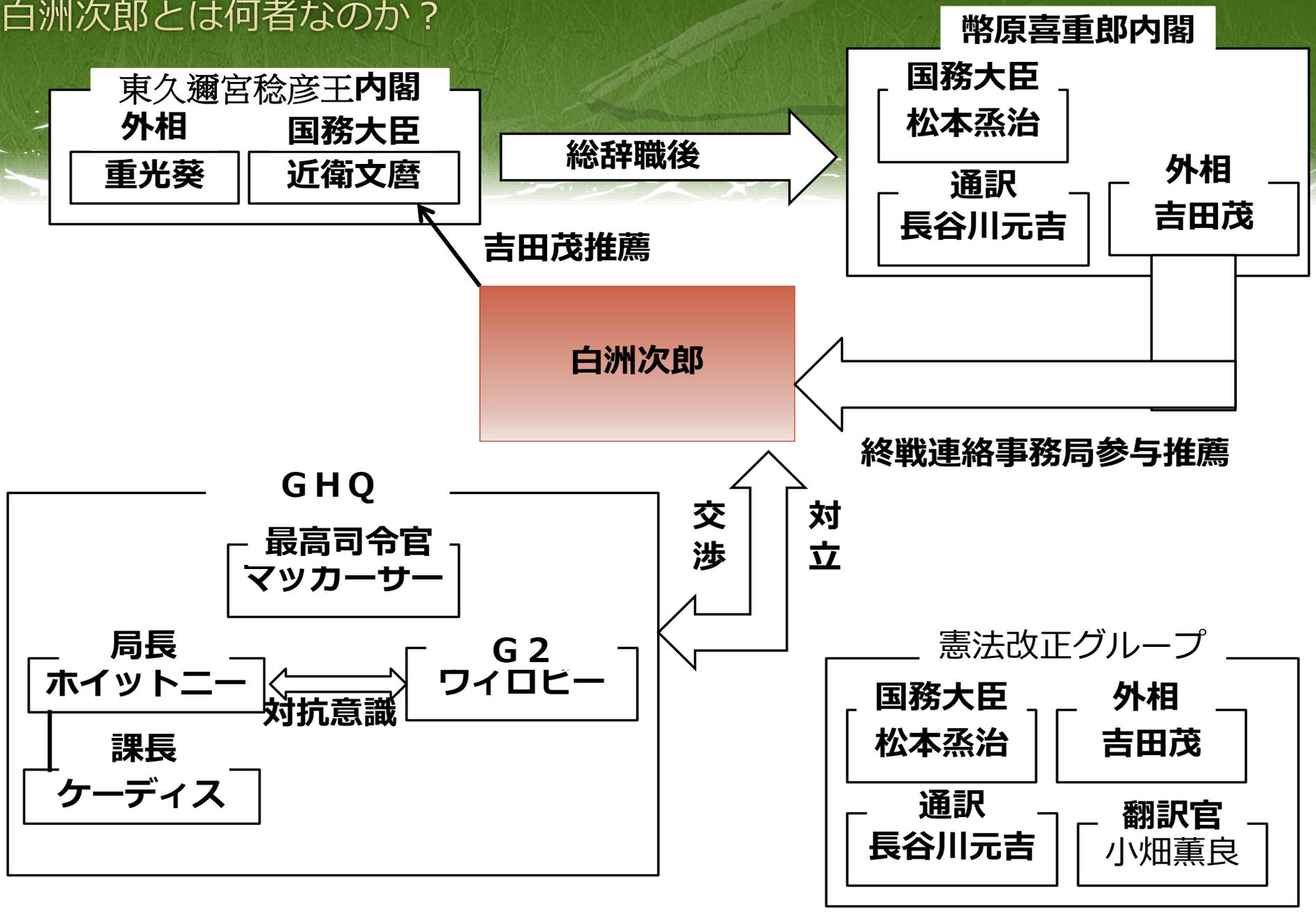
1902年～1928年 白洲次郎誕生～帰国。

白洲次郎とは何者なのか？



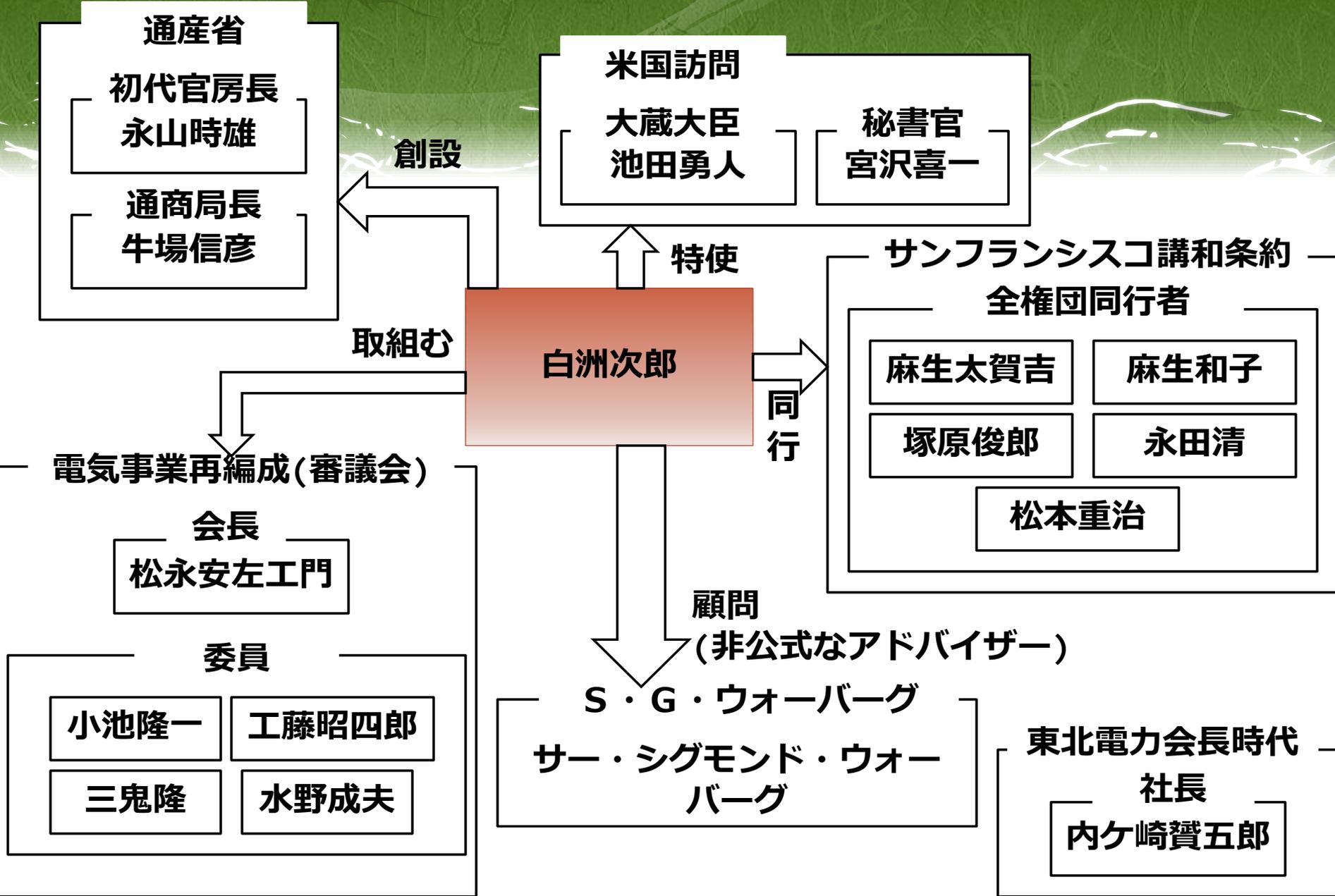
1929年～1945年8月15日 ジャパン・アドバタイザー入社～終戦

白洲次郎とは何者なのか？



1945年～1948年10月15日 終戦～第二次吉田内閣成立

白洲次郎とは何者なのか？



白洲とは何者なのかまとめ

アウトサイダー白洲次郎

白洲次郎は日本人でありながらイギリスに行き、
イギリスから見れば日本人
日本から見れば英語達者な日本人!?



?



仲介者：白洲次郎

アウトサイダーであった彼は、戦後の日本で
海外と日本をある時は政治、ある時は企業間を仲介する
仲介者として暗躍する！ 例) GHQと日本
シェルと昭和石油



白洲次郎のモットー：プリンシプル

白洲次郎は自ら「プリンシプルに基づいて行動している」と言っている。このプリンシプルが仲介者としての対人関係に大きく影響があるのでは？

?

プリンシプル

プリンシプルとは何か

戦後史の重要な場面の数々に立ち会いながら、まとまった著作は遺さなかった白洲次郎が、生前、散発的に発表した文章がこの一冊。



プリンシプルとは？

Principle

語源：初14C中期フランス語principe

またはラテン語principium（初め、起源）より

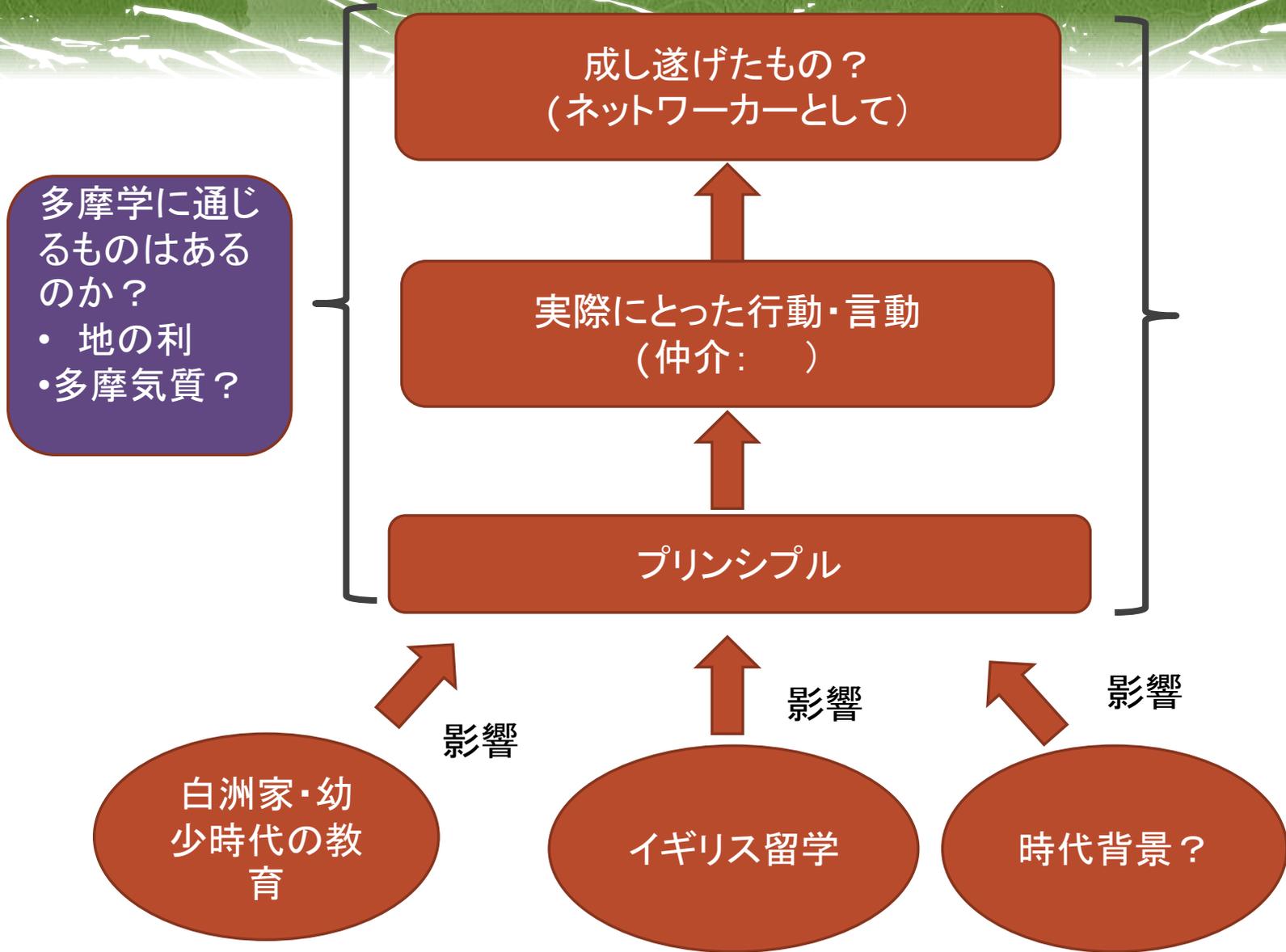
1. 原理、原則；公理、法則
2. 主義、信念、信条；（…という）行動の基準、根本方針
3. 正道、道義；高潔、節操
4. 本質；根源、本源；根本原因、訴因
5. 素、精、成分

（ジーニアス英和大辞典より）

次郎の言うプリンシプルとは日本語の「筋を通す」という表現に似ているが、妥協することも必要（自分が納得した上で）

私達は白洲次郎の仲介者としての成功のポイントを「プリンシプル」にあると考えた。

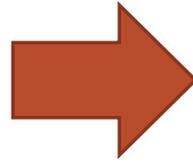
白洲次郎の説明まとめ



白洲次郎の疑問 & 方針

仮説

白洲次郎が仲介者として成功したのはアウトサイダーである彼の経験と、彼の持つ「プリンシプル」が要因ではないか？



方針

プリンシプルが仲介において、重要な仲介された企業を元にデータを集め検証する。
又、白洲次郎の行き方を現代に置き直し必要性を探る。



二人の共通点とは？

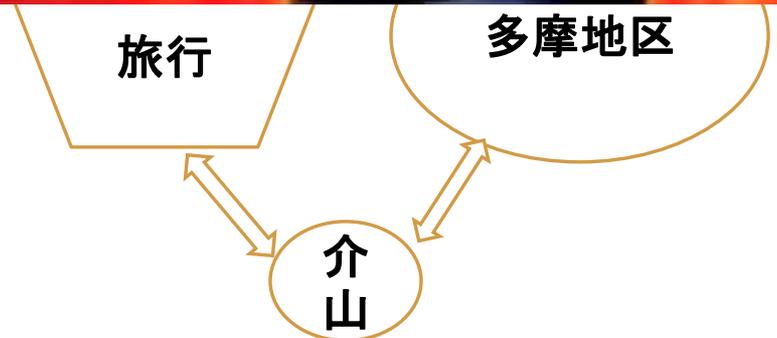
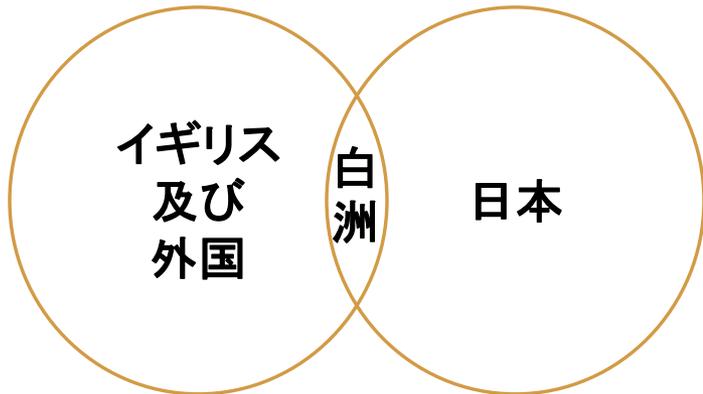
二人の共通点

アウトサイダー

アウトサ

中里介山は、自分の居場所を求め続け、
白洲次郎は、日本人でありながらイギリス
日本の官僚から見ると剣橋という異色な

どうしたらいい?!!



今後の予定

8月

9月

10月

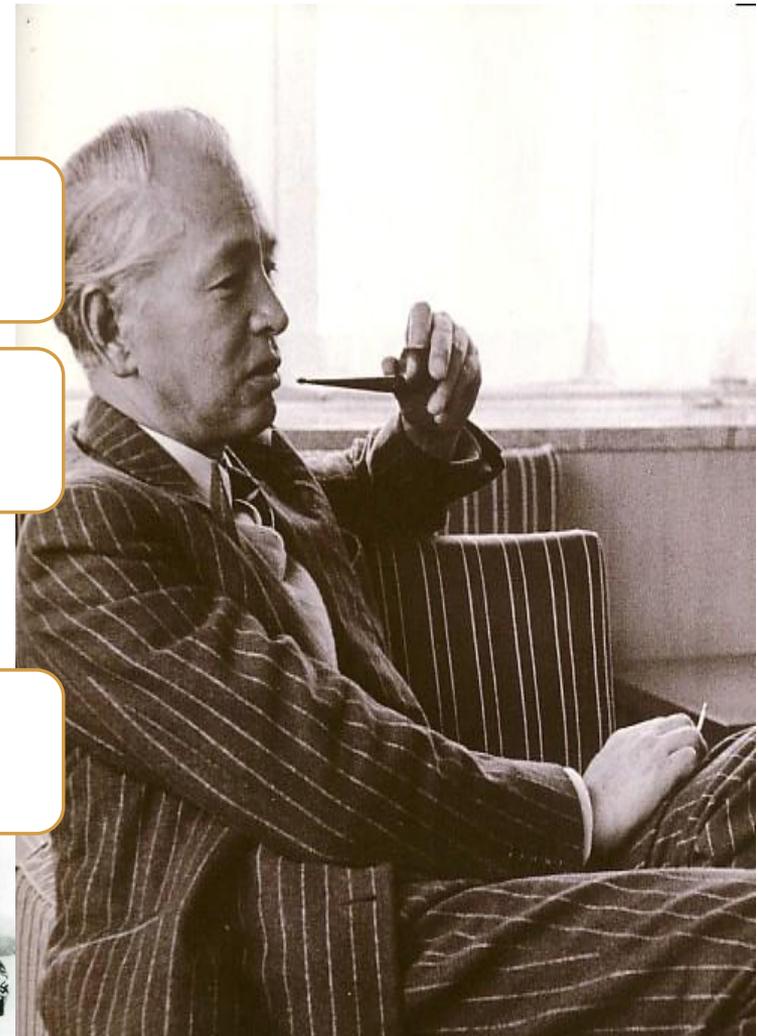
11月

12月

白洲・中里の研究終

多摩学としての研究
論文作成

論文完成



ご清聴ありがとうございました

